

(CompTIA Advanced Security Practitioner (CASP+))

CASP+ (CompTIA Advanced Security Practitioner) 認定資格は、より高度なセキュリティ実務者を対象にしたセキュリティの知識とスキルを証明する、ワールドワイドで提供されているベンダーニュートラルな認定資格です。この認定資格では、エンタープライズセキュリティ、リスクマネジメント、調査と分析、システム統合、コミュニケーション、企業でのセキュリティ規則やコンプライアンスなどの幅広いセキュリティへのスキルを証明することができます。

CASP+認定資格試験では、複雑化するエンタープライズのIT環境をセキュアに維持するため、横断的に対応策、解決策を概念化し、設計、計画、実装をする上で必要な知識とスキルを問う問題が出題されます。

複雑な企業環境を横断的に、セキュアな解決策を概念化し、設計し、かつ巧みに計画実行するのに必要な技術知識と技術をカバーします。また、企業でのIT環境をセキュアに運営し続ける上で、企業横断的に必要とされるセキュリティソリューションの考え方や判断方法などについても出題がされます。

CASP+試験については、[こちら](#)をご覧ください。

下記のコースを受講済み、または同等の知識を有する方

- [\(CompTIA Security+\)](#)
- [\(CompTIA Cybersecurity Analyst \(CySA+\)\)](#)

受講対象者

- ・ IT全般の管理者として10年以上の経験、そのうち5年以上をセキュリティに関連する実務に携わるエンジニアの方。
- ・ CompTIA CASP+を取得したい方。

概要

本トレーニングでは、エンタープライズセキュリティ、リスクマネジメント、調査と分析、システム統合、コミュニケーション、企業でのセキュリティ規則やコンプライアンスなどの幅広いセキュリティへのスキルについて学びます。

CompTIA CASP+ に対応しています。

本トレーニングでは、The Official CompTIA Advanced Security Practitioner (CASP+) Student Guide (Exam CAS-003) eBook (電子テキスト)を使用します。

本トレーニングでは、知識の補強および理解度向上のため、オンラインラボ (6か月間利用可能) を使用します。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

複雑化するエンタープライズのIT環境をセキュアに維持するため、横断的に対応策、解決策を概念化し、設計、計画、実装をする上で必要な知識とスキル

複雑な企業環境を横断的に、セキュアな解決策を概念化し、設計し、かつ巧みに計画実行するのに必要な技術知識と技術

企業でのIT環境をセキュアに運営し続ける上で、企業横断的に必要とされるセキュリティソリューションの考え方や判断方法

アウトライン

Supporting IT Governance and Risk Management

Leveraging Collaboration to Support Security

Using Research and Analysis to Secure the Enterprise

Integrating Advanced Authentication and Authorization Techniques

Implementing Cryptographic Techniques

Implementing Security Controls for Hosts

Implementing Security Controls for Mobile Devices

Implementing Network Security

Implementing Security in the Systems and Software Development Lifecycle

Integrating Assets in a Secure Enterprise Architecture

Conducting Security Assessments

Responding to and Recovering from Incidents

各章にオンラインラボ（6ヶ月間利用可能）がついております。（コース中に全ての演習は取り扱いません）